

東条学園 9年生を送る会



【 全校生の歓迎を受け、卒業生入場 】



【 手作りの花道を通り退場 】



【 各学級からのメッセージも掲示 】

東条学園小中学校では、8年生を中心に組織された新学園生会の企画・運営のもと、1～9年生の全校生が参加して、「9年生を送る会」が開催されました。最初に世界大会でも優勝経験のある爆進ダンスチーム「モータルコンバット」のダンスパフォーマンスを楽しみました。その後、新学園生会が作成した「9年生思い出のアルバム」と「1～8年生からのビデオメッセージ」が上映されました。ビデオメッセージでは、各部活動からのメッセージを中心に9年生との思い出と感謝の気持ちを伝えました。最後に9年生の代表は「ここにいる55人のみんなと先生方、そして皆さんのお陰で今日まで走ることができました。もうすぐ私たちは卒業します。新しい場所に行ってもここで学んだことや皆さんとの思い出、そして今日頂いたメッセージとともに一生懸命頑張っていきたいと思います。」とお礼の言葉と決意を述べました。東条学園小中学校の児童生徒のまとまりと一体感のある学校行事になりました。卒業式は3月14日に行われます。

東条学園 令和7年度第4回学校運営協議会



【 浅野名誉教授の講話を聞く委員 】

東条学園小中学校で、第4回学校運営協議会が開催されました。学校行事の保護者アンケートでは「大変よかった」「よかった」の肯定的回答が体育大会で96.1%、学園祭では99%という報告が行われました。また、学校評価の結果報告について、教職員評価では、生徒指導、学級学園の集団づくり、教職員相互協力、平和学習、地域連携・協働の分野が向上し、児童生徒自己評価では、全般的に上昇する中で、特に学習活動や集団づくりの項目が向上している報告がありました。

学校運営協議会顧問の兵庫教育大学の浅野名誉教授は「東条学園では、教職員が行った学校評価を見ると地域との連携の項目が高く、学習に対する評価が低い。子どもたちの学習状況から判断すると低いことはないが、教職員自身が高みを目指しているのがわかる。また、学力の高さではなく、学力が伸びており、特に、主体的・対話的な学びが伸びていると感じる。読解力向上には、多様な文章に触れる機会の確保と、調べる・話し合うなど多様な学習方略の経験が重要である。また、主体的・対話的な学びの積み重ねが学力の伸長につながる。加えて、落ち着いた学級経営は学力向上の基盤であり、東条学園の安定した学習環境は大きな強みである。今後も学校・家庭・地域が連携し、現在の良い流れを継続し発展させていくことが期待される。」と述べられました。義務教育学校として学校・家庭・地域が一体となった更なる進化が期待されます。

ないが、教職員自身が高みを目指しているのがわかる。また、学力の高さではなく、学力が伸びており、特に、主体的・対話的な学びが伸びていると感じる。読解力向上には、多様な文章に触れる機会の確保と、調べる・話し合うなど多様な学習方略の経験が重要である。また、主体的・対話的な学びの積み重ねが学力の伸長につながる。加えて、落ち着いた学級経営は学力向上の基盤であり、東条学園の安定した学習環境は大きな強みである。今後も学校・家庭・地域が連携し、現在の良い流れを継続し発展させていくことが期待される。」と述べられました。義務教育学校として学校・家庭・地域が一体となった更なる進化が期待されます。